

教学 IR 室 広報誌 *Bloomin'*

日没間近の中津川キャンパス



2024  
Jan.5  
Vol.3



夜の瑞浪キャンパス

# 2024年 年頭のご挨拶



新年あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。本年もどうぞ宜しくお願いします。

今年の干支は「甲辰」(きのえたつ)です。「甲」は堂々とそそり立つ大木を表し、第1位や優勢であること、「辰」は十二支の中で唯一の架空の生き物である龍を表し、「水や海の神として龍が現れるとめでたいことが起こる」と伝えられてきました。このようなことから「甲辰」の年は、「成功の芽が成長して姿を整えていく」といった縁起のよさがあると言われていました。

教学IR室の活動は今年で4年目を迎えます。これまで3年間、IRレポート、座談会、合同研修会、学内広報誌、学長ワークショップ等、様々な観点から、建学の精神を具現化する教育の実現をテーマに、教学マネジメントに資する活動を展開して参りました。このような活動をベースとして、今後さらに目的に向かって邁進していく所存です。

干支が示す通り、これまで培ってきたものが実を結び、関係する全ての皆様と共に教育の充実を実感できる日も近いと信じております。引き続きの絶大なるご支援とご協力をお願い申し上げます。以上、簡単ではございますが、新年のご挨拶とさせていただきます。

学長 林 勇人

## 第2回 学長ワークショップ開催!! 2023.9.26

今回のテーマ「学生が出席したい価値ある授業とは?その創意工夫とは?」について、看護学部の1,2年生27名を対象にブレインストーミングとKJ法を用いて行いました。

自由闊達な意見が飛び交う中、優先順位として挙がったのがコチラ↓

- ① 学びの場、環境の設定(雰囲気の良い、教員の人間性、集中できる環境、熱意)
  - ② 教えるスキル、知識(話し方、伝え方、聴き方、問い方、資料、形式、内容)
  - ③ 学びのアウトプット(学生の発表、学生同士の交流、教え合い、社会とのつながり)
- あらためて、学生が主体的に学ぶための環境づくりと基本的教授姿勢の大切さを感じた時間となりました。

第3回(12/13実施)の様子は次号にてお伝えします!



## Pick up! IRレポート

第3回目のピックアップ分析は2023年10月に公開しました「第24回IRレポート」です。テーマは「入試選抜の種別から見た累積平均GPA及び在学率との関連性」でした。今回取り上げたテーマはこれまで大学として本格的に分析されてきませんでした。そのため教学IR室としても初めての分析となりましたが、図が示すように入試形態によってGPAや在学率にバラツキがあることがわかりました。この結果は私たち教職員が入試選抜の種別を考慮した指導の重要性を示唆しているのではないのでしょうか。

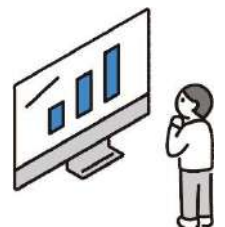
その一方で、特定の入試選抜の該当者数が少ない、あるいは年度ごとで名称が異なる場合もあり、明確な傾向等を明らかにすることが困難でした。この点は今後の分析上の課題ですが、引き続きこのテーマを取り上げていきたいと思っております。



注: 円の大きさは該当者数に比例する。  
【IR室第24回レポート, p12(一部加工修正)より】

### 第24回レポート教職員座談会より(11/9開催)

- ・教員に各学生の入試種別を共有してほしい。
- ・教育プログラムによる評価がどうなっているのか知りたい。
- ・特色ある入試+αで〇〇な力で〇〇な人になれる」という教育プログラムとつながるようにする必要あり。
- ・入学後のミスマッチを防ぐための工夫が必要。等



# Energy Space とは？



本学に関する様々なポジティブ情報を随時更新し、ここを通るすべての人たちにエネルギー補給をしてもらうための場所。



## CHUKYO VOICE



～ 本学に関わる様々な人の声をお届けします ～

経営学部卒 同窓会長 小栗久美子さん



中京学院大学に入学してから早三十年が過ぎようとしています。先輩も少なく、学年関係なく仲良く過ごしてきました。そして硬式野球部のマネージャーとして学生生活を謳歌した野球部には感謝しかありません。地域の方や他大学、保護者の方との

交流は、私にとってかけがえのない宝となり、その経験が社会人として生活する基盤となっています。

この大学は自分の可能性を最大限に引き出し、何事にも挑戦することができる大学です。

他から見れば、田舎の小さな大学かもしれませんが、先生方が一人一人の学生をしっかり認め、寄り添い支えてくださることで、過去・現在・未来の自分自身をしっかり見つめ、これからのビジョンを組み立てることができるこの大学は唯一無二の温かい大学だと思います。

思いっきり学生生活を楽しんで、たくさんの思い出と共に誇りをもって卒業し、そして卒業生として戻ってきてほしいです。

## 域学連携講座公民館サタデーキャンパス

11月25日、中津川市中央公民館にて、第3回サタデーキャンパスが開催され、経営学部 宮嶋恒二先生による『WBC 優勝にみる栗山監督のリーダーシップについて』というテーマで講義が行われました。

以下、宮嶋先生のコメント \* \* \* \* \*

私は、今年の4月に本学に着任したばかりですが、早速このような貴重な機会を与えていただき心より感謝しています。いつもの大学での授業とは違い、同じくらいの年齢層または年長の方々とお話することで少し緊張しましたが、聴講者の方々と触れ合いながら講義を進めることができ、とても楽しく、また良い経験になりました。



ユニフォーム姿で  
気合十分！

配付チラシ

## Information

- ◆2023.10.26  
経営学部4年 赤塚健利さん  
プロ野球ドラフト会議・  
広島東洋カープ5位指名・
- ◆2023.11.24  
軟式野球部  
第46回全日本大学軟式野球選手権  
大会優勝🏆
- ◆2024.2.22-23  
本学中津川キャンパスにて、日本ビジネス実  
務学会 2023年度中部ブロック研究会  
開催予定📍

日	時間	講師	講義内容
8/26 (土)	13:00-15:00	講師 観崎 学 経営学部経営学科准教授	商品学的視点からみた筆記用具
9/30 (土)	13:00-15:00	講師 大塚賢 元康 経営学部経営学科准教授	持続可能な開発についての理解を深めよう
11/25 (土)	13:00-15:00	講師 宮嶋 恒二 専任講師	WBC 優勝にみる栗山監督のリーダーシップについて
1/24 (土)	13:00-15:00	講師 相模 貴 経営学部経営学科准教授	テレビコマercialから読み解くマーケティングの戦略
3/9 (土)	13:00-15:00	講師 藤本 淳 経営学部経営学科准教授	中津川市から見る学官

主催・共催 中津川市中央公民館 中津川市本町 2-3-25 TEL.0573-66-6141 FAX.0573-66-6777  
共催 中京学院大学 中津川キャンパス 中津川市千原 1-104

とにかく食べることが好き!これは一生ついてくるものであることと、食を通じて自分や家族の健康についても学べることからこの道へ進んだという。

いつも一生懸命で熱い先生の原点は、創立者安達壽雄先生の「私達はファミリーです」という言葉に衝撃を受けたことに始まる。また、本学の卒業生でもある先生が過ごした学生時代が、とても楽しく充実したものであったことから、学生達にも同じ思いをしてほしいと、喜ぶことは何でもしよう、力になれることはしようとしてきた。

そんな先生が本学で働く理由とは?『ここに来てよかった』という学生の一言がほしいから。いつも学生と共に~Here is second home for you~ の体現者ここにあり。



## クローズアップ講義 看護学部 形態機能学

看護学部では、1年生前期・後期の1年間で、形態機能学の I、II、III を合計38コマ学んでいきます。形態学は「解剖学」、機能学は「生理学」と言った方が解りやすいかもしれませんが、形態機能学(解剖生理学)は、全ての医療従事者が必ず最初に修得する医学の基本中の基本になります。

ここ半世紀において急速に理解されるようになった「生理学」により、多くの疾病発症メカニズムが解明され、その診断・治療・予防法等が目覚ましい発展を遂げているとは言え、まだまだ明らかにされていない部分も多いことから、学生達が自ら学ぶべき内容は無限と言えます。一方、完成された学問と思われがちな「解剖学」ですが、それが大きな過ちを生みます。現在でも、毎年無数の奇形が国内および国際解剖学雑誌には投稿され続けています。しかしこれを「奇形」と片付けていけません、それは現在「奇形」なだけだからです。我々ヒトは、変異と淘汰を繰り返しながら今なお進化の過程にいることを忘れてはいけません。残念ながら先日、某大規模病院において、奇形の可能性の確認を怠ったことにより、若い命が奪われる痛ましい事故が起きてしまいました。本学の形態機能学では、看護師養成に義務化されていない人体解剖学見学を取り入れています。この場において、数ある奇形の中から一つでもそういった例に出会うことができればと考えています。それがきっかけで、何万例に1の事故を防げるかもしれません。

そんな中、学生達が最も身につけるべき能力は、教科書に書いてある過去50年よりも卒後50年の進歩に己の力で対応していける能力です。すなわち「現在の正確な認識」、「課題の認識」、「正しい情報取得」、「情報の正しい解釈」、そしてその時点で最も正しいと考えられる「選択」です。

この形態機能学は、これからの医療を支えていく学生達の、生涯の学びの原動力になる講義でなければならないと考えています。

看護学部 基礎医学領域 教授 眞部孝幸



短期大学部 専任講師  
荒井和樹先生



画像引用:子ども・若者が創るアウトリーチ 荒井和樹(著)  
-せせらぎ出版\_版元ドットコム,  
<https://www.hanmoto.com/bd/isbn/9784884163006>  
(2023年12月1日アクセス)

『子ども・若者が創るアウトリーチ\_支援を前提としない新しい子ども家庭福祉』改裝版

本学メディアセンターに蔵書あり

若者が着ぐるみ姿で街頭に立つ活動は、本書のタイトルにある「アウトリーチ」。福祉の手が届かない子どもたちとつながり、誰もが楽しく過ごせる場所を若者自身が一緒に作るその活動の発起人が、全国子ども福祉センター理事長でもある本学の荒井和樹先生です。支援を求める子どもに「提供する福祉」から、子どもたち自身で「創りあげる福祉」への転換を実践する活動記録。



2023年11月27日  
令和5年度第1回「未来をつくるこどもまんなかアワード」にて、全国子ども福祉センターが内閣総理大臣表彰を受賞されました!

### 訃報

短期大学部健康栄養学科 特任教授  
福田 泰樹 先生

2023年12月2日ご逝去されました。

1986年(昭和61)年から37年間にわたり本学科にご尽力いただきました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。



### Bloomin' とは?

種を蒔き、芽が出て膨らみ花開くように、教学IR室の様々な発信が本学の発展につながるようお願いをこめてつけました。



編集・発行



中京学院大学

教学IR室 広報誌 Bloomin'

第3号 2024年1月5日発行

〒509-9195 岐阜県中津川市千旦林1-104

TEL : (0573)66-3121

URL : <https://www.chukyogakuin-u.ac.jp/>

E-mail : [ir-room@chukyogakuin-u.ac.jp](mailto:ir-room@chukyogakuin-u.ac.jp)